

須賀川市立義務教育学校「**稲田学園**」学園だより

とう oun  
**稲雲**

令和6年度 第13号

令和6年11月1日発行

発行者：校長 田中 朗裕



## ○「秋華祭」が終了しました!!

10月19日（土）に、本校の文化祭である「秋華祭」を開催しました。来賓の皆様と多くの保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちが本気でがんばる姿を見ていただくことができました。今年度の文化祭は、テーマ、シンボルマーク、テーマソングを決定する際に、実行委員会が児童生徒へのアンケートを実施・集計した上で選定し、それを職員会議の席上で全職員にプレゼンをして決定しました。児童生徒が主体的に学校行事に関わり、準備や練習に取り組み、大成功させることができました。ステージ上や閉祭式で見た達成感や充実感にあふれた表情は、見ていて清々しく、そして頼もしいものでした。

後期課程の生徒が片付けを始める時に、少しだけ生徒に話をする時間がもらえたので、自分たちの力で「秋華祭」を成功させたことを誇りにして、さらに素晴らしい稲田学園を創ってほしいという期待を伝えました。子どもたちのもつ力の大きさを改めて実感することができた、とても素敵な一日になりました。



## ○第3回の避難訓練を実施しました。

10月22日（火）に、第3回の避難訓練を実施しました。いつ、どこにいても自分の命を守ることができるように、今回の避難訓練は、児童生徒への予告はせず、休み時間中に実施しました。児童生徒は、火災報知器が鳴ったときに、自分のいた場所から、自分で校庭へと避難しました。中には、驚いて、一度教室に戻って担任の先生の指示を聞こうとした子もいました。避難後には、須賀川消防署の方のお話を聞き、4年生から9年生の代表児童生徒と本校の職員が水消火器による消火訓練も行いました。「自分の命を自分で守ることができる児童生徒」にまた一歩近づきました。



## ○就学時健康診断を実施しました

10月25日（金）に、令和7年度就学時健康診断を実施しました。令和7年度の入学予定者を対象に、学校医を招いて健康面での検査を行ったり、保護者の皆様を対象に「子育て講座」を行ったりしました。子どもたちの誘導は、頼もしい6年生の児童が担ってくれました。

初めて就学を迎える保護者の皆様にとっては、不安や戸惑いもあるかもしれませんが、「子育て講座」で小グループになって話し合いをしたことで、少し緩和されたところがあったようでした。稲田学園職員全員で来年4月の入学をお待ちしております。



## ○松明が完成しました！

10月26日（土）に、稲田学園松明作り協力会、保護者の皆様のご協力をいただき、松明が無事に完成しました。9月7日（土）の「茅刈り」、9月28日（土）の「茅運び、竹切り」を経て、完成の日を迎えられたこと、本当に嬉しく感じています。当日の松明製作は、9年生が中心の活動でしたが、途中で7・8年生も参加し、一生懸命に活動してくれました。協力会の皆様のご指導のもと、生徒も保護者の皆様も、手際よく作業を進めることができていました。途中には、ご来校いただいた須賀川市長様、教育長様から激励の言葉をいただき、活動の様子を見ていただくこともできました。完成した松明を前にした生徒たちの、達成感にあふれた表情がとても印象的でした。世代を超えて、伝統行事が次の世代に確実に受け継がれていく瞬間が見られた、貴重な一日になりました。

あとは、11月8日（金）の出発式、そして9日（土）の「松明あかし」を待つだけとなりました。協力会、日本工営、渡辺建設、稲田コミュニティセンター、久保木畳店、そして保護者の皆様、これまでのご支援とご協力、本当にありがとうございました。



## ○教育相談（三者面談）を実施中です

10月25日（金）から、後期課程は全生徒、前期課程は希望者を対象に、教育相談を実施しています。児童生徒の学校生活や学習の様子、そして特に9年生には、進路選択についての具体的なお話をさせていただいています。文化祭も終了しましたので、ここから9年生の「入試モード」が本格的になります。教育相談は、15分から20分という限られた時間ではありますが、児童生徒とご家庭にとって有意義な時間になるように、学級担任は事前に資料等の準備をしながら臨んでいます。今後も、学校と家庭が連携しながら、子どもの心と体の健やかな成長と未来を切り拓く力を育てていきたいと考えています。